

いざなぎ学園だより

第2回・第3回講座 令和6年6月12日（水）



令和6年6月12日（水）「いざなぎ学園」第2回・第3回講座が開催されました。午前は第2回講座として、関西テレビの栗山和久氏をお招きし「東北地震の経験と機材開発」について、ご自身の東日本大震災の取材体験や、震災をきっかけに放送機材やドローンなどの開発改良が進み、現在の発災時にも早く正確な情報伝達につながっていることを学びました。午後の第3回講座は関西テレビの武藤良博氏による「災害報道とメディアの関係、バラエティー番組について」を開催。番組づくりのプロセスや制作スタッフの役割分担、スタジオや背景セットの裏話など、これから新しい視点でテレビ番組を視聴できるような興味深いお話をいただきました。

◎学園生のみなさんの感想 振り返りシートから（抜粋）

- 楽しくお話聞かせていただきました。ドローンへの食いつき（皆さんの）スゴかったですネー
- 実体験に基づいた災害取材のカメラマンとしての課題とその対策について熱をもって伝わりました。ドローンの実機を用いた講義を検討願います。
- 今回の講義は興味深かったです。説明も上手、声もいい。今までとは少し違って楽しいです。
- ドローンの事に興味を持ちました。機会があればドローンの講習があると良いと思います。
- 災害報道の機材やその課題の解決のために機材を開発する等、初めて聞く話ばかりでした。私達の知らない所で技術開発がされているのだなど、それぞれの専門分野の方々ががんばっておられるのだなどと思いました。
- テレビ局の講座は初めてだったので、東北地震の生中継の経験を聞き、今後の生中継の見かたが変わりました。機材の開発、ドローンの話は大変勉強になりました。
- 初めてのメディア関連の講座で、新たな知識を得ることができた。午後の講座では番組制作の裏側の一端を知り、視聴時の楽しみが増えたように思う。
- 取材、構成、編集、放送～アーカイブと仕事の流れを知り、多くの人々の手で私たちの家テレビに届けられていることを知り、感謝の気持ちになりました。観る姿勢が変わりました。
- 今まで知る機会がなかった番組作りについての話をわかりやすく聞くことができ、今後、より興味を持ってテレビを見させていただけます。ウラ話的なことも聞けて楽しかったです。
- 番組の裏側よくわかっておもしろい。縁がない世界だったので興味深かった。
- 災害報道、バラエティーいろんな部所、組織が連動している面白さ等、裏方さんも大変ですね。新しい内容の講座は大変良かったです。
- 災害発生の番組内訓練のビデオは私も緊張して見ていました。「伝える側と見る側の相互理解」大事ですね。
- 午前の講義に続き放送業界の裏側を知る事が出来ました。以前の講義よりも大変面白く受講させて頂きました。

兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

<https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

